

令和 7 年 11 月 26 日
 西日本高速道路株式会社

E10 東九州自動車道 宇佐IC～院内IC の 4 車線化工事が 令和 7 年 12 月 12 日(金曜)に完成します

NEXCO 西日本九州支社(福岡市博多区、支社長:加治 英希)が進めています、E10 東九州自動車道 宇佐インターチェンジ(IC)～院内IC 間(本線から宇佐料金所まで)【延長:1.5km】の 4 車線化工事が、令和 7 年 12 月 12 日(金曜)14 時に完成します。

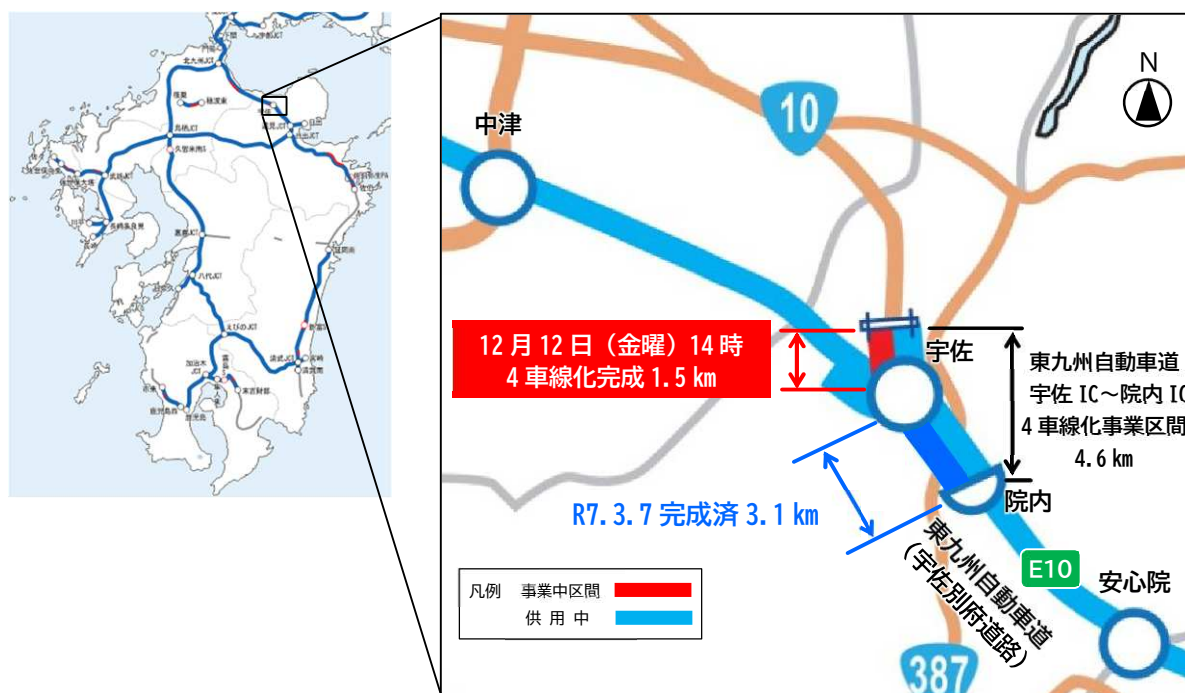
引き続き、4 車線化工事を進めてまいりますので、高速道路をご利用のお客様や沿線にお住まいの皆さまには、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 4 車線化完成区間および完成日時

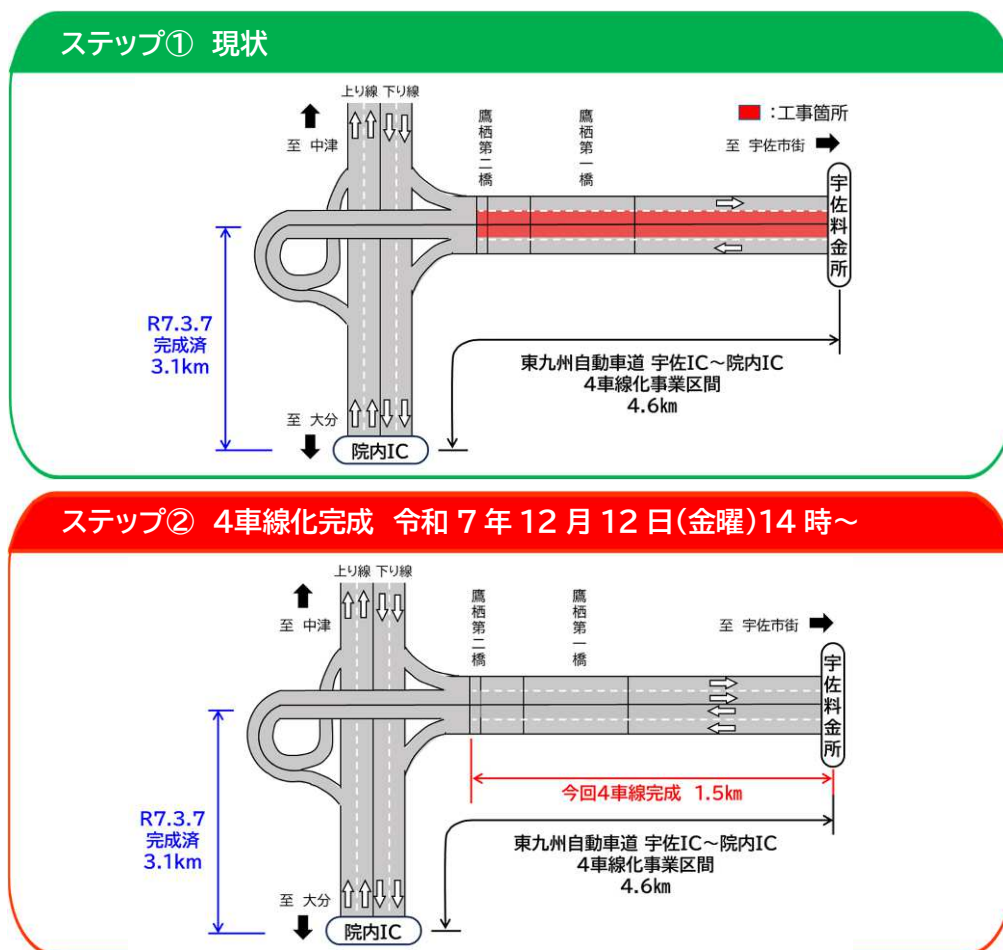
- 1) 区 間: E10 東九州自動車道 宇佐IC～院内IC(本線から宇佐料金所まで)
- 2) 所 在 地: 大分県宇佐市大字山本～大分県宇佐市大字山本
- 3) 延 長: 1.5km
- 4) 日 時: 令和 7 年 12 月 12 日(金曜) 14 時

※ 工事の進捗および天候等により変更する場合があります。

2. 位置図



3. 完成までのステップ図



4. 4車線化による整備効果

E10 東九州自動車道 ^{うさ}宇佐IC～^{いんない}院内IC の4車線化により、以下の整備効果が期待できます。(詳しくは添付資料をご覧ください)

- さらなる安全性の向上
- 災害時のリダンダンシー機能強化

東九州自動車道は、九州の東部において、北九州市を起点とし、福岡、大分、宮崎、鹿児島各県を結び、鹿児島市に至る全長436kmの高速自動車国道です。路線の沿線には、農林水産業が盛んな地域をはじめ、多くの重要港湾や空港等の交通拠点および工業都市が位置しており、九州の産業・経済・観光などの発展に重要な役割を担っています。

このうち、大分県の北部に位置する宇佐IC～院内IC間の4車線化が完成します。4車線の交通運用開始に伴い、災害時のリダンダンシー機能の強化が図れ、安全性・信頼性等の向上が期待されます。

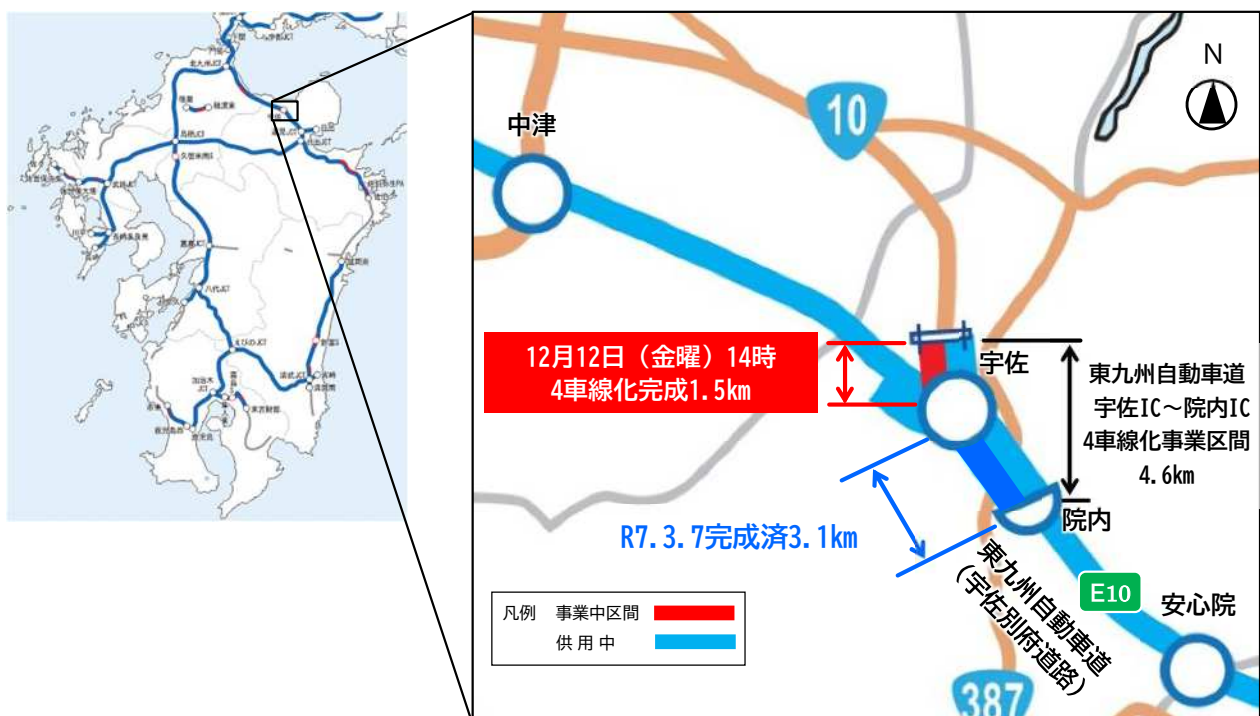
〔路線概要〕

- 路 線 名 : 東九州自動車道
- 道 路 名 : E10 東九州自動車道
- 区 間 お よ び 延 長 : 宇佐IC ～ 院内IC (4.6km)
(大分県宇佐市大字山本～大分県宇佐市院内町^{くしの}櫛野)

〔4車線化完成区間〕

- 区 間 お よ び 延 長 : 宇佐IC～院内IC のうち本線から宇佐料金所まで (1.5km)
(大分県宇佐市大字山本～大分県宇佐市大字山本)

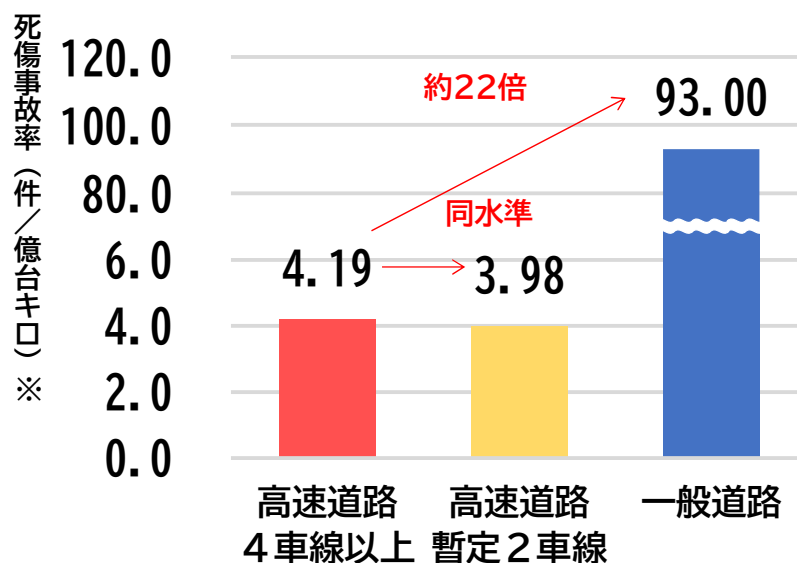
◆今回完成区間の位置図



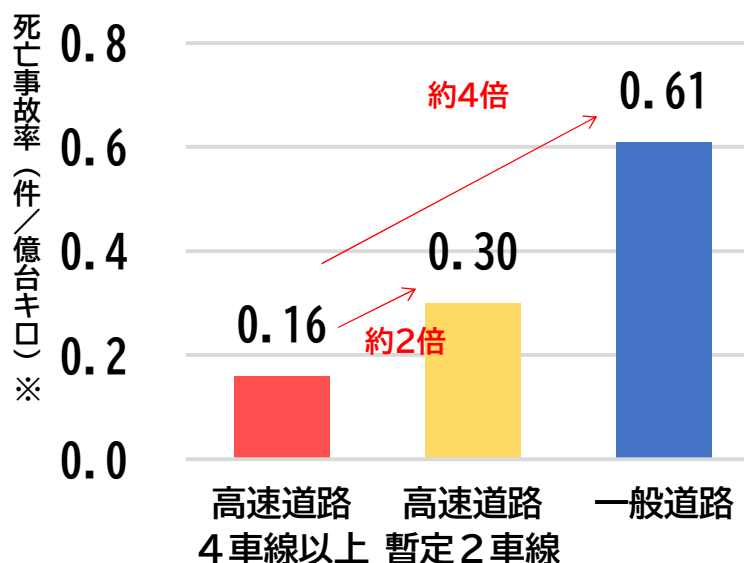
■さらなる安全性の向上

- 対面通行による暫定2車線区間は、4車線区間に比べて、交通事故が発生した場合、死亡事故となる割合が高くなっています。
- 4車線化により、中央分離帯を設置し上下線が分離されることで、対向車線への飛び出しを防止し、安全性が向上することが期待されます。

<死傷事故率>



<死亡事故率>



4車線化により上下線を分離することで、
対向車線への飛び出し防止など安全性が向上

■災害時のリダンダンシー機能強化

- 異常降雨によるのり面崩壊等の災害時において、対面通行となる暫定2車線区間では、復旧工事がすべて終わらなければ通行する車線を確保することが困難なことから、通行止めが長時間必要になります。
- 4車線以上の区間では、被災した側の車線の復旧工事を行いながら、同時に反対側の車線を対面通行運用するなど、車線を有効に活用することで、災害時の迅速な交通確保などが可能となります。

《暫定2車線区間の災害復旧事例》

区間： E10 東九州自動車道
椎田南IC～豊前IC

概要： 平成30年7月豪雨 のり面崩壊



暫定2車線区間は、復旧作業が終わらないと交通確保が困難



全面通行止め: 約1か月間

《4車線区間の災害復旧事例》

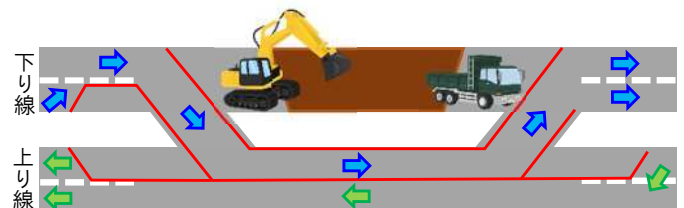
区間： E3 九州自動車道
溝辺鹿児島空港IC～加治木JCT

概要： 令和元年7月九州豪雨 のり面崩壊



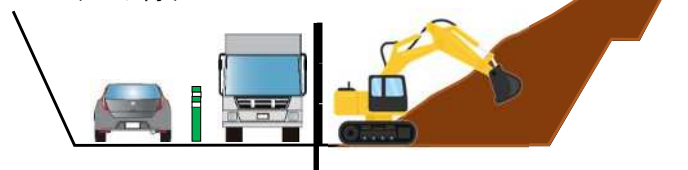
※上り線を対面通行で運用し、復旧作業を実施

4車線のうち、2車線を復旧作業の施工ヤードとして利用し、早期に交通を確保



＜対面通行＞
(上り線)(下り線)

＜復旧作業ヤード＞



全面通行止め: 約2日間